

科目名 Subject	美容デザイン論Ⅳ Theory of Beauty Design IV			教員名	ヘアチーム	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	本科目では美容デザイン論Ⅰ・Ⅲで学んだ基礎理論を応用し、国家試験課題の第二課題であるワインディングとオールウェーブの技術課題の分析を行なっていく。 また、幅広い美容デザインの知識をもとに、サロンワークでの実践を想定した技術理論について考察を深める。人体に直接触れながら技術を行うといった美容デザインの特性を踏まえ、安全な薬剤知識と的確な技術に関する知識を備えることは重要である。そのために美容デザイン実習Ⅵ・Ⅶと連動して知識を深め、技能の向上に向けた課題分析を実践する。 したがって、講義のみにとどまらず、美容デザイン実習と関係づけた授業を展開していく。					
授業方法	授業は対面で行うが、状況次第でZOOMによる同時双方向(リアルタイム)のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	理論の知識を用い、ワインディングとオールウェーブの課題分析ができる。 美容デザイン実習Ⅵ・Ⅶと関係づけ、技能向上のための課題解決へ向けて知識を応用することができる。 様々な美容デザインに関して得た知識を基に、人への実践を想定して各技術に関連する内容を選択できる。					
時間外学習 (予習・復習)	1回の授業につき予習(15分～30分)としてテキスト美容技術理論1・2もしくは教員作成資料の指定した範囲に目を通し理論の確認をする。または指定したテキスト美容技術理論1・2の以前にまとめたノートを確認する。 1回の授業につき復習(30分～45分)としてノートにまとめ作業を行い、理解の度合いを確認する。または教員作成資料を繰り返し読み込み、演習問題プリントを繰り返し回答する					
教科書・教材	教科書	美容技術理論1・2、公益社団法人日本理容美容教育センター、2023年 教員作成資料及び演習問題プリント				
	教材	B5大学ノート				
	使用設備・備品	プロジェクター				
	参考文献	なし				
評価方法	定期試験(90%)の得点と提出物(10%)で評価する。 その他、授業態度について意欲的に参加しているかを評価して最大10点を加算する。 ただし、総合評価の最高点は100点とする					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法						
	定期試験の要点について、classroom内、もしくは美容デザイン論Ⅴにて解説を行います。					
履修上の注意	美容デザイン実習Ⅵ・Ⅶの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡はclassroomを通じて行います。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第 1 回	オリエンテーション ヘアセッティング ウェーブ理論とヘアカーリング理論を学ぶ	ウェーブ理論とカール理論を振り返り、説明できる。	美容デザイン論Ⅰ・Ⅲでまとめたノートをもとに復習30分と演習問題を解く15分、教科書のスキップウェーブの範囲を読む予習15分
第 2 回	国家試験実技第二課題① ウェーブ構成を学ぶ	スキップウェーブと他のウェーブの違いを列挙することができる。国家試験課題に関係づけて説明できる。	スキップウェーブをノートにまとめる15分とウェーブに関する以前のノートまとめと比較して考える復習15分、カールの種類を確認する予習15分、演習問題を解く15分
第 3 回	国家試験実技第二課題② カールの種類を学ぶ	国家試験実技第二課題に用いられているカールの種類を列挙することができる。それぞれのカールの違いを比較できる。	カールの種類をノートにまとめる30分とまとめノートで以前のピンニングについてを確認15分、演習問題を解く15分
第 4 回	国家試験実技第二課題③ ピンニングの種類を学ぶ	国家試験実技第二課題に用いられているピンニングの違いを技術と関係づけて説明できる。	ピンニングについての説明をノートにまとめる30分と演習問題を解く30分
第 5 回	国家試験実技第二課題④ カールとウェーブの構成を学ぶ	カールとウェーブの関係を理解し、技術と関係づけることができる。	カールとフィンガーウェーブの構成と特徴をノートにまとめる30分と演習問題を解く30分
第 6 回	国家試験実技第二課題⑤ 技術ポイントへの応用	ワインディング課題とオールウェーブ課題の注意点を美容デザイン実習Ⅵ・Ⅶの技術に応用することができる。	国家試験課題の作成図を描き、注意点を該当箇所に記入する45分と美容技術理論2) 8章：エステティック概論とマッサージ理論の教科書の範囲を読む15分
第 7 回	8 章：エステティック① エステティック概論・マッサージ理論を学ぶ	エステティック概論・マッサージ理論について述べるができる。	美容技術理論2) 8章：エステティック概論とマッサージ理論をノートにまとめる45分と次回の8章マッサージ技法の教科書の範囲を読む予習15分
第 8 回	8 章：エステティック② マッサージの技法を学ぶ	マッサージの各技法について列挙することができる。	美容技術理論2) 8章：エステティックのマッサージ技法をノートにまとめる45分と次回の11章日本髪の教科書の範囲を読む予習15分
第 9 回	11 章：日本髪① 日本髪の構成と形の違いを学ぶ	日本髪の構成や髷型の違いを理解し新日本髪の結い上げ技術に関係づけることができる。	美容技術理論2) 11章日本髪の構成と形の違いをノートにまとめる45分と次回の日本髪の結髪道具や装飾品について教科書の範囲を読む予習15分
第 10 回	11 章：日本髪② 日本髪の結髪道具や装飾品を学ぶ	日本髪の結髪道具や装飾品について列挙することができる。	美容技術理論2) 11章日本髪の結髪道具や装飾品をノートにまとめる45分とシャンブーについてまとめた以前のノートをみて復習する15分
第 11 回	シャンプーについて	シャンプー剤の種類やリンス・コンディショナー・トリートメント、スキャルプトリートメントを毛髪と頭皮に合わせて選択できる。	状態に合わせたシャンプー剤とリンス・コンディショナー・トリートメントを分類する30分とカットングについてまとめた以前のノートをみて復習する30分
第 12 回	ヘアカットングについて	ベーシックなカット技法とシザーやレザーによるカット技法を使用用途によって選択できる。	指定した画像のカット技法をピックアップする30分とパーマウェーブについてまとめた以前のノートをみて復習する30分
第 13 回	パーマウェーブについて	パーマウェーブの仕組みを具体的に述べるができる。技術のプロセスの要点を説明できる。	パーマの仕組みとプロセスを踏まえてワインディングの方法を選ぶ30分とカラーリングについてまとめた以前のノートをみて復習する30分
第 14 回	ヘアカラーリングについて	染毛剤使用時の注意事項を具体的に述べるができる。酸化染毛剤のプロセスを適切に選択できる。	指定画像からカラーリングのプロセスを考える30分と美容技術理論1と2の全範囲の演習問題を繰り返し解く30分
第 15 回	まとめと解説	今までの知識を国家試験筆記過去問題へ応用することができる。人に合わせた美しさをデザインするための課題分析をすることができる。	美容技術理論1と2の全範囲の中で特に苦手な箇所をこれまでにまとめたノートや資料を活用し分析し直す。